				平成20年度事務事業評価表			_	作成日:平成20年9月1日 管理 1-1-1-14		
評価対	付象年度: 平	·成 19 年度	Ę	T10, 2 0 -	以20千度争切争来叶叫农				1-1-1-14	
事務	事業名 小学村	交教育振興事	業					部等名	教育部	
予算 科目	会 計	科目	コード	予算細目名	教育振興事業			課等名	幼保学校課	
	一般	01-100	0302001	細々目名			係 等 名	学校教育係		
-1 6-6-	基本目標	1 豊かな	心と創造性は	ご創造性あふれる人材育成のまちづくり						
政策 体系	施策	1 小中学	校教育体制の	4制の充実と施設の整備充実						
件示	基本事業名	1 学校教育内容の向上								
	事業概要 ・ 実施内容	心身の健全な育 学校教育法等	育成を図る。 開係法令		事業の種類	□維持管理		☑ 義務的事業	児童の学力向上及び	
根拠法令等		本宮市立小中学校管理規則			評価区分 □事前評価 ☑事後評価					
重点事業区分 □重点事業 事業実			事業実施	期間 🗸 🗸	継続 □単年	度 □期	間限定(年度	~ 年度)	
进	1 報酬	0		円 11 消耗品費		5,598,276 円		及び手数料	11,326,400 円	
決 算 額	7 賃金		0		・修繕料	521,912 円	18 備品購		2,784,351 円	
	8 報償費	, , , , ,		-	, , , ,		-	補助及び交付金	354,250 円	
1 1	9 費用弁償	状把握(Do)	4,025	円 13 委託料		0 円	合	計	21,020,814 円	

(1)事務事業の目的と手段

対象(誰を、何を)

市内小学生

手段(事業の具体的な内容、手順等)

小学校に予算配当をし、教育振興費(教育課程で必 要になる教材・教具等の購入)の適切な予算執行を行 う。

意図(対象を、どのような状態にしたいのか)

効果的な教育活動の展開により、教育内容の向上を 図る。

活動指標名・式(アウトプット) 活動の大きさを表す指標

	指標	名称	小学校費に占める教育振興費の割合
\	(1)	式	教育振興費 / 小学校費現予算額

指標 名称 (2) 式

成果指標名・式(アウトカム) 意図の達成度を表す指標

指標 名称 教育振興に係る児童一人当たりの額

(1) 式 教育振興費の決算額/児童数 名称

指標 (2)

事務事業を実施(意図を実現)することで、施策にどのように貢献していますか

小学校の運営に必要な経費を予算化し、教育の機会均等と教育水準の維持向上に努める。

(2)指標・総事業費の推移

`		1W							
		区分	単位	年度 (実績)	年度 (実績)	18年度 (実績)	19年度 (実績)	20年度 (見込み)	年度 (最終目標)
	活動指標(1)		%				4.15	2.86	
指	活動指標(2)		千円						
標		成果指標(1)					11	11	
		成果指標(2)							
	事業費	財国・県支出金	千円						
		源地方債	千円						
投		内その他	千円						
		一般財源	千円				21,021	20,975	
入		事業費計(A)	千円		0		21,021	20,975	
_	人	職員数	人				0.15	0.15	
量	件	人件費平均額(年)	千円				8,373	8,373	
	費	人件費計 (B)	千円		0	0	1,256	1,256	
		総事業費 (A+B)	千円		0	0	22,277	22,231	

(3)事務事業の環境変化・市民の意見等

事業の開始時期から、または5年前と比べ事業を取り巻く環境(対象者・法令等・社会情勢)はどう変わりましたか?

年々財政が厳しくなる中、管理運営及びそれらに係る事務を執行する上で極めて厳しい。限られた予算を有効活用し、児童 がより良い教育環境で勉強・運動に励むことができるように務める。

この事業に対して、関係者(市民・議会・事業対象者・利害関係人等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?

教育環境の観点から、教材備品の整備状況や学校図書館の蔵書の充足率について要望あり。

2.事務事業の評価 (Check)

	[目的妥当性評価]									
	施策体系と			市が行なう				図の妥当性		
		【理由】			【理由】			【理由】		
	□無	【理由 ,	改革改善案へ		【理由 ,	改革改善案へ】	□無	【理由 ,	改革改善案へ】	
					r 左於松	50 /JE 7	<u> </u>		<u></u>	
Acres	成果の向上	- 全····		事業の中止	<u>[有効性</u> ・廃止によ		新 州 車業	<u></u> との統廃合の	可能州	
評	□ 有	- ^{赤地} 【理由 ,	改革改善案へ		・廃止にす 【理由 】		回有			
価	日無	【理由】			【理由 ,			【理由】	U∓U□A ·	
		A			B	NAT		B		
結										
果										
			[効率	※性評価]				[公平性詞		
	事業費の削			人件費の削				旦の適正化余		
		【理由,	改革改善案へ		【理由 ,	改革改善案へ】		【理由,	改革改善案へ】	
	□無	【理由】		□無	【理由】		□無	【理由】		
3 ‡	 評価結果の網	公丘レ会後	の方向性							
	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・					(2)全体総括(折	E11:E11	5少占)		
(1)	· 八計1111日 (目的妥当		_ =	ᄝᆂᆝᄉᆘᆄᇸ	7	(4)主冲総拍(加	なり返り、	(
	日的安三 有効性	11±	= =	見直し余地があ						
	句如性 効率性			見直し余地があ 見直し余地があ						
	公平性			見重∪赤地かめ 見直し余地があ						
(3)	ター タード ター	の方向性		元旦∪示心がの) S		(5)	心當 . 心盖!	こよる期待成果	
	□廃止		 休止	□事業の統原	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	□目的再設定	, ,	止・休止の場		
	□事業のや				元 方改善(効		"	<u> </u>	コスト	
	事業のや			_		ーはいる) で特に改革改善しな	:(1)	削	咸 維持 増加	
	改革改善案((TIZOE)	- SOLD CWET O	(IAC/ICO/AE/				7.7 11.23	
(. / .								ル 44++		
								果 低下		
								1610 1		
(6)	改革改善を	実現する上	での解決すべき	課題と解決策						
(-/-										
	事務事業の			2次評価対象	✓ 2	次評価対象外				
(1)	2次評価者					(2)評価結果の 概	拠と理由			
	目的妥当	性	=~:	見直し余地があ						
	有効性			見直し余地があ						
	効率性			見直し余地があ						
	公平性			見直し余地があ	5る 					
(3)			改革改善案)	_					こよる期待成果	
	□廃止	□休』	□目的	再設定 🗆	事業の統腐	译 合	磨	止・休止の場		
	□事業のや	り方改善(有	i効性改善)	□事業のや	り方改善(対]率性改善)			コスト	
	□事業のや	り方改善(公	(平性改善)	□現状維持	(従来の通り)で特に改革改善し	はい)		咸 維持 増加	
								向上		
								成 維持	\sim	
								低下	\times	
(5) ⁻²	<mark>その他、2</mark> 次	ママス (評価会議で	で指摘された事項	Į						